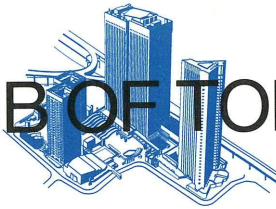




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2001 : CREATE AWARENESS - TAKE ACTION

「ロータリー2001：意識を喚起し一進んで行動を」

2000～2001年度・国際ロータリーテーマ/フランク・J・デブリン会長

「さわやかに全員参加で行動を」

2000～2001年度・東京新南ロータリークラブテーマ/山下忠治会長

本日の例会 10月12日(木) 第674回例会

第2750の地区川尻政輝ガバナー公式訪問

卓話「公式訪問に際して」

第2750地区ガバナー 川尻 政輝 氏
(東京世田谷RC)

(東京南・東京新南合同例会 会場 東京會館)

ガバナー・会長・会長エレクト・幹事懇談会
(11:00～12:00)

川尻 政輝氏 プロフィール

生年月日 昭和9年2月25日
 現住所 東京都世田谷区瀬田1-24-17
 勤務先 東京都渋谷区宇田川町2-1-501
 川尻法律事務所・弁護士

学歴 1953年3月 鶴丸高等学校卒業
 1957年3月 法政大学法学部卒業
 1959年3月 東京大学法学部卒業

職歴 1959年4月 法政大学法学部助手
 1965年4月 法政大学法学部講師
 1969年4月 日本弁護士会連合会登録
 東京第二弁護士会所属
 1980年4月 東京家庭裁判所調停員並びに
 参与員に任命され現在に至る。
 1993年4月 第二東京弁護士会役員に
 選任される
 1994年4月 日本弁護士会連合会役員に
 選任される。
 1998年4月 関東弁護士会連合会役員に
 選任される。

ロータリー歴 1982年8月 東京世田谷ロータリークラブ入会
 1993～94年 同クラブ幹事
 1997～98年 同クラブ会長
 ポールハリス・フェロー、ベネファクター
 米山功労者



先週報告 10月6日 第673回例会
クラブ創立14周年記念例会

◎会長報告

①例会前に、馬場一廣ガバナー補佐、松本公成地区副幹事、関征春・荒木昭文両グループ幹事をお迎えし「第3回クラブ協議会」が「職業奉仕と私」をテーマに開催することが出来ました。皆様のご協力に対しお礼申し上げます。

引続き例会に馬場ガバナー補佐、松本地区副幹事、関グループ幹事にご出席頂きました。

②今日は、当クラブの創立14周年記念例会です。第2750地区パストガバナーで初代会長の田辺賢三さんにお祝いの乾杯の音頭をとって頂きました。

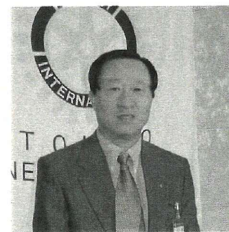


「創立14周年を祝って乾杯！」
(田辺賢三初代会長)

◎慶事披露

誕生日祝い/渡部一元君(10月8日)、田中 武君(10月11日)、庄司泰典君(10月11日)、吉岡琢磨君(10月13日) 加藤昌明君(10月16日)
100%出席/馬場一廣君、吉田用親君(以上14年)
小杉真史君(5年)

新会員のご紹介 (2000年10月6日入会)



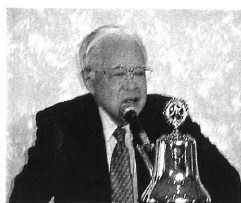
いち かわ とおる
市 川 徹 君

生年月日 1941年12月6日生 (58歳)
職業分類 国際ホテル
事業所名 全日空エンタプライズ株式会社
役 職 常務取締役

所在地 〒107-0052 港区赤坂1-12-20 榎坂ヒルズ
TEL 3505-9500 FAX 3505-1151
住 所 〒277-0823 柏市布施新町4-14-2
推薦者 入沢 頼二君、田中 武君

次週予告 10月20日 第675回例会

◎卓話予定 10月は職業奉仕月間
「最近の企業の不祥事とロータリーの職業奉仕」
元会長 武下 朗 君



「クラブ創立14周年記念日にあたって」

第2750地区バスターガバナー

初代会長 田辺 賢三

当クラブは、1986年10月3日に創立総会を創立会員25名で当ホテルで挙行されました。以来、満14年を経ました。

皆さん方のご努力でいいクラブに成長してきたと思っております。今、隣に座っていたガバナー補佐の馬場さんが、各クラブを回って見ましたが、その中でも「いいクラブになりましたよ」と言っていました。

早いもので、14年が経ちました。1986年10月でした。この2年前、ロータリーイヤーに私は東京南RCの会長をしていました。1985年の終り頃、新クラブの設立の必要性についての声が出始めました。当時の南RCは、会員が210名にも達して、クラブ内では、会員があまり増えると会員間の親睦の点で好ましくないこと、また、会場の物理的条件も早晚限度となると予想されたこと等がその理由でした。

たまたま、六本木、赤坂地区の再開発が森ビルを中心に始まっていて、ここにホテルも出来、格好の例会場となるので、この赤坂地域に新クラブを結成してはどうかと云う考えが出されました。1985年12月の理事会で新クラブ設立準備委員会を発足させ、私が委員長に指名されました。そして、諸準備を進め、翌年10月創立の運びとなりました。

南RCからは、私をはじめ創立会員として7名が移籍、会友の沖さんもそのひとりです。クラブの名称を東京新南RCとしました。これは、南RCとテリトリーを共有する「2階建てクラブ」としたからでした。それまでは、西RCの他、数クラブのスポンサークラブとしてテリトリーのほとんどを割譲して行った結果、テリトリーをこれ以上小さくする訳には行かないこと、地域共有とし南RCと気持ちの通じ合うRCにしようとして新南RCの設立となったのです。

この機会に、ロータリークラブのテリトリーについて少々お話してみたいと思います。

ロータリークラブでは、定款の第2条で「クラブは一定のLocality(場所、地域)を持たなければならない」とされ、これを「Territory limit(区域限界)」とっています。地盤を持つ事とも云えます。当クラブにも定款に則って区域限界が定めてあり、南RCと同じ区域となっています。

本来、クラブの区域とする一定のLocality(地域)は、クラブの活動の「場」とされ、クラブ活動のCommunityを意味するものとされています。会員の住所または、事業所が区域内にあるのを原則にしており、この区域外からの入会は先方区域の所管RCに、幹事からいちいち電話で了解を取っていました。

1950年(昭和25年)、東京地域で唯一のRCであった東京

RCがそのテリトリーの東京23区(行政区)の内、千代田区、中央区の2区を除いて南北に行政区を分け、東京南RCに10区、東京北RCに11区を割譲しました。

東京南RCは、1953年西RCを設立し、そのテリトリーの大部分を分けました。その後、西RCは、積極的に子クラブを創っていき、羽田、品川、世田谷、目黒などのRCを設立し、さらにそれらが子クラブを設立しました。今では、山の手A・B、京浜グループのほとんどが西RCの系譜のクラブとなっています。

これに対し、南RCは、西RCを含め僅かに5つのクラブを創ったに過ぎません。この中には、町田RCのように当時、多摩地区にRCが無地区だったので南RCをスポンサーとして設立を頼まれたものがありますが、西北、芝、新橋と我が新南の各RCです。これは、南RCがテリトリーの大部分を西RCへ割譲したため、南RCのテリトリーは港区の一部になってしまい、テリトリーを割譲して新クラブを創ることが極めて難しくなったからと思われま。

しかし、アメリカでは、今でも区域限界は厳密に守られているようです。例えば、No.1のシカゴRC(300名)では、その綱領に、シカゴ市をクラブのコミュニティと解釈する旨を謳っております。シカゴと名の付くRCは郊外に5~6位ありますが、テリトリーの割譲はしていません。No.2のサンフランシスコRC、No.3のロサンゼルスRCなども同様に、皆区域内に1つとなっています。

つまり、Localityを譲らないというのが原則のようです。日本の場合は、今は、区域限界を云々することがなく、増強で地域を心配することはなくなりました。この傾向は今後も進むでしょう。

こういった意味で東京RCが大胆なテリトリーの割譲を行ったことは、先見の明があったと言えるかもしれません。

10月6日/16件 47,000円
2000~2001年度累計605,000円
多額の御寄付を有難うございました。

ニコニコBOX

沖宏之(会友)/創立14周年おめでとうございます。青野さん、入沢さん、加藤先生、先日は有難うございました。馬場一廣、山下忠治、加藤昌明、土屋東一/創立14周年記念例会を祝しまして。入沢頼二/市川さん、ご入会心より歓迎致します。関征春/ご無沙汰しました。武下朗/ガバナー補佐をお迎えして。横山秀明/クラブ協議会では、多数の方々にご協力いただきありがとうございました。開発英基/米国出張で欠席しました。渡部一元、吉岡琢磨/小杉眞史さん、いつもお元気で何よりです。河原勢自、小杉修造/クラブ協議会で、ご苦労さまでした。荻野道雄/はじめてのSAAです。小杉眞史/何年ぶりのニコニコです。100%5年のご褒美有難うございました。

*紙面の都合上、コメントを一部省略させていただきます

東京新南ロータリークラブ

会長：山下忠治 副会長：加藤昌明 幹事：梶内滋男
事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL:03-3505-5976 FAX:03-3505-6004
例会日：毎週金曜日 12時30分
例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111

<会報委員> 下線は、今週の担当

青野 信次、福島 賢哉、石川 泰啓
清原 元輔、本嶋 公民、村山 公士
庄司 泰典、高須 康有、田中 武
土屋 東一、圓谷 正和、山川 政樹